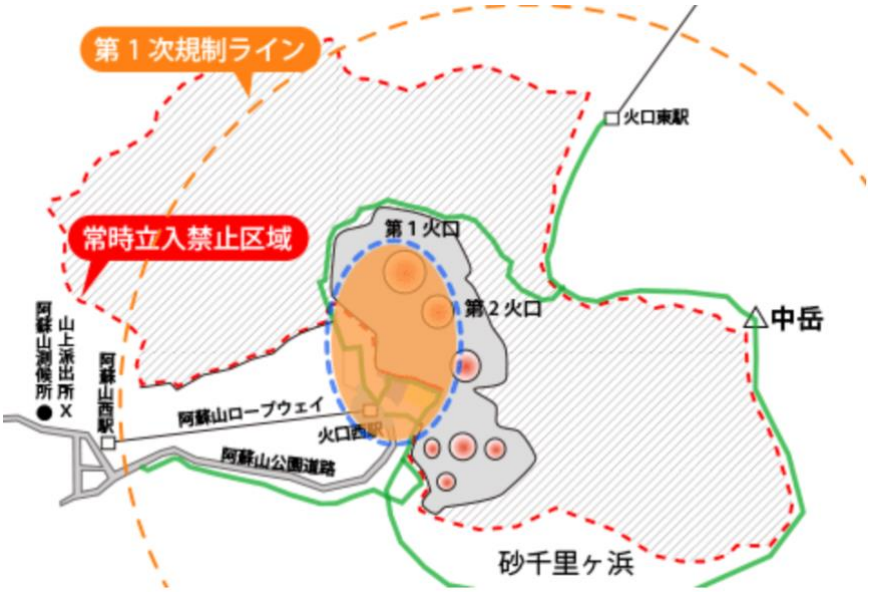
DuMA ニュースレター *2019 年 10 月 28 日*

阿蘇山の活動が活発な状態が続いています

10月に入り、阿蘇山の活動度が高い状態が続いています。特に火山ガスの放出量は極めて高いレベルを保っており、現在の警戒レベルは2の「火口周辺規制」ですが、今後3の「入山規制」に引き上げられるかもしれません。阿蘇山ロープウェイは動いてはいませんが、阿蘇は他の見どころも沢山あります。火山情報にも気を配りながら、ぜひ秋の行楽をお楽しみください。



第1火口、第2火口を含む色塗りの地域が現在立ち入り禁止

箱根ロープウェイ運行再開

10月7日に箱根山の警戒レベルが1（活火山であることに留意：通常の状態）に引き下げられました。26日から運休となっていた箱根ロープウェイの早雲山―姥子駅間の運行を再開しました。

箱根は先日の台風19号により、箱根登山鉄道の運行再開の見込みはたっていませんが、ロープウェイの再開が秋の観光シーズンに良い影響を与える事を期待したいと思います。

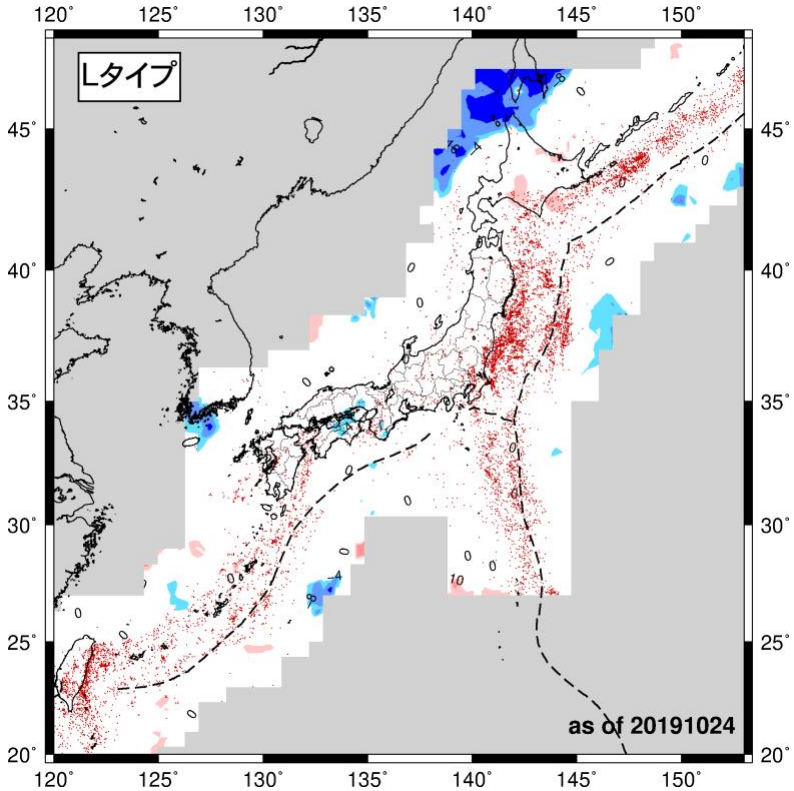
日本およびその周辺の広域地下天気図®

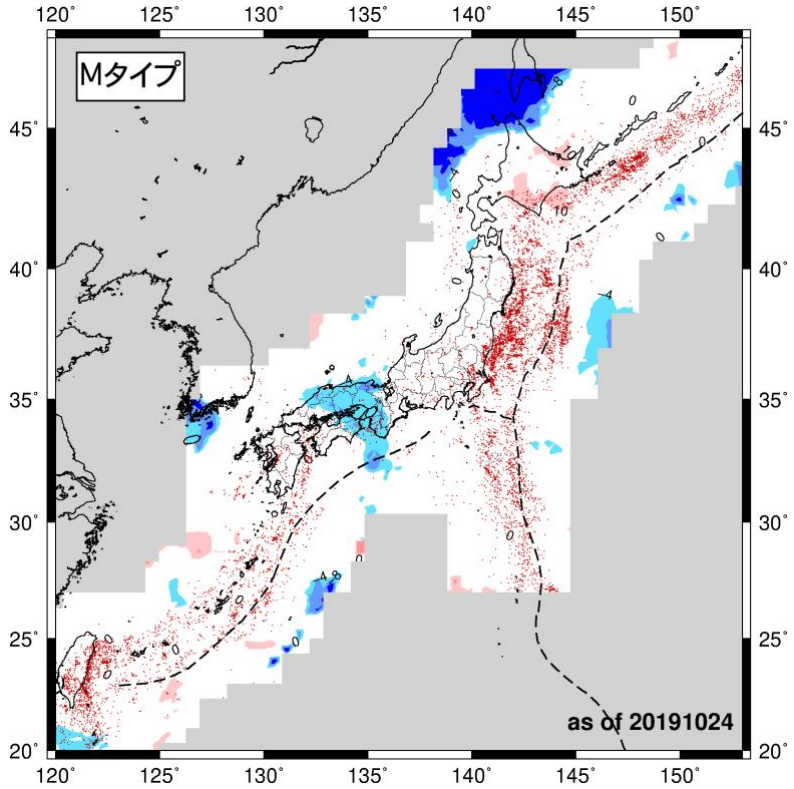
今週は 9 月16 日のニュースレターに引き続き、現在の気象庁の観測網で解析できる最大範囲の領域の解析です。主に海域で発生するマグニチュード7以上の地震を対象とした解析です。

今回は10月24日時点の L タイプおよび M タイプの2つの地下天気図をお示しします。前回からの違いとして、本州では M タイプの解析で近畿地方に大きな異常が出現している事です。この異常は、陸域に特化したより小さな地震まで用いた解析でも出現しています。ただ L タイプでははっきりとは見えません。近畿地方は昨年の大阪北部地震以降、地下の状態が極めて不安定になっているとも考えられます。非常に深刻とは思えませんが、心の片隅に留めておく必要のある異常だと思います。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。（個人会員）―　記事の無断転用は禁止します。―　本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。

それに対し、北海道北西地域からサハリンにかけての異常は、Ｌタイプでも Ｍタイプでも共通に出現しています。この異常は顕著ですが、気象庁の地震データの観測限界に近いため、異常の精度が若干落ちるのは事実です。ただしこの日本列島全体の解析では、かなり大きな地震のみを解析に用いている事から無視する事は出来ない異常と考えます。





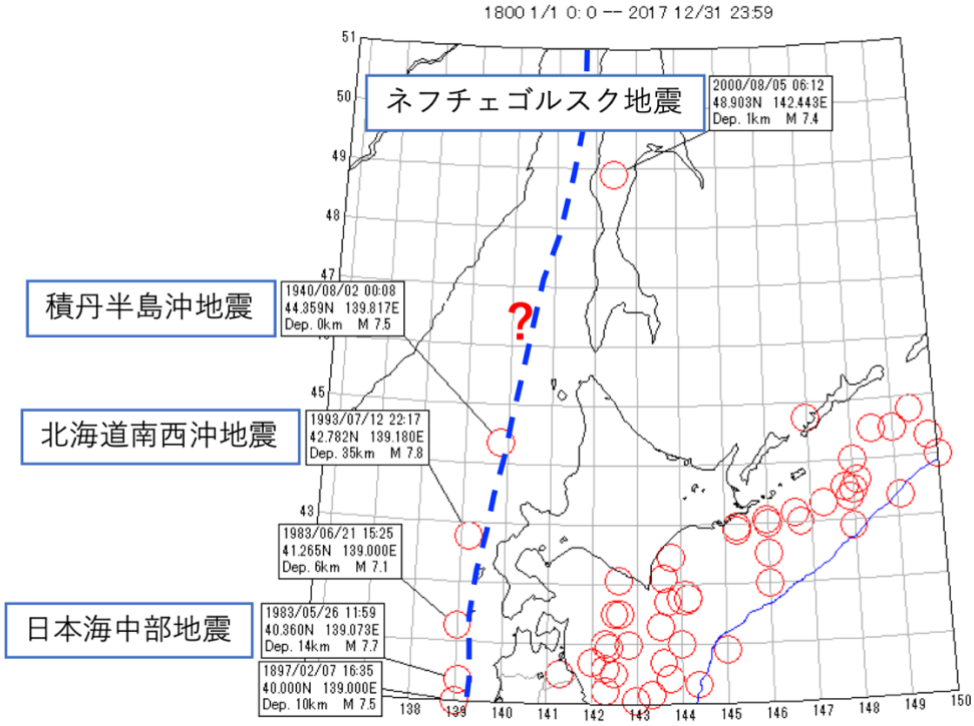
10 月 24 時点の Ｌ タイプ（上）と Ｍ タイプ（下）の地下天気図

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) ― 記事の無断転用は禁止します。― 本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。

日本海東縁からサハリンにかけての過去の地震

日本海の東縁（北海道の西方沖からサハリンにかけた地域）では、過去、線上に並んだ被害地震が発生しています。プレートテクトニクス理論では、ここにユーラシアプレートと北アメリカプレートの境界があると考えられています。

次の図は 1800 年以降のマグニチュード 7 を超える地震をプロットしたものです。おおよそのプレート境界は図中の太点線で示しました。



1940 年には積丹半島沖地震、1983 年には日本海中部地震（死者：104 人）、1993 年には北海道南西沖地震（死者・行方不明者:230 名）、2000 年にはネフチェゴルスク地震がサハリンで発生し、およそ 2,000 名の方が亡くなっています。

そして図中の？で示した付近では、ここ 200 年は大きな被害が出た地震は発生していません。この付近はプレート境界という事もあり、今後規模の大きな地震発生の可能性の高い地域と考えられます。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) ―　記事の無断転用は禁止します。―　本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。